

コロナ感染症による受講・新規募集中止期間を経て

3 期生 8 名・4 期生 12 名のカレッジ生が新たに登録されました

年度別新規登録者・在籍者数

在籍者数（人） 新規登録者数（人）	2018年度	2019年度	2020年度～ 2021年度	2022年度	2023年度
1期生 2018年度	54 女17 男37	51 女16 男35	受講・新規募集 中止期間	35 女12 男23	27 女9 男18
2期生 2019年度		39 女18 男21		25 女10 男15	19 女7 男12
3 期生 2022年度	—	—		8 女1 男7	7 女1 男6
4期生 2023年度	—	—		—	12 女4 男8
合 計	54 女17 男37	90 女34 男56		68 女23 男45	65 女21 男44

コロナ禍を超えて、つづく学びの世界

UU カレッジコーディネーター 廣瀬隆人

随分と間が空いたニュースレターNo.3になってしまいました。このかんの流れを振り返ってみましょう。例えば2020年2月3日横浜港に帰港したダイヤモンドプリンセス号は、乗客が新型コロナウイルス陽性であることが確認されたため、政府は乗員乗客の下船を許可せず、2月5日に検査結果よりCOVID-19陽性者が確認された……。遠い過去のように思えますが3年前の出来事です。2020年4月から2022年9月(前期)までUUカレッジは休校となりました。この間、Zoomでの交流会や受講者への度重なるお知らせ、受講者交流のための近況報告集の刊行などが思い出されます。2022年後期からようやく対面授業が再開することとなりましたが、授業のあり方は大きく変化しました。全ての授業はC-learningが導入され、カレッジ受講者はこのシステムを操作して受講することになりました。地域デザイン科学部の若園准教授と学生の支援によるC-learning説明会が実施されました。このしくみにより、多くの受講者がC-learningを自分のノートパソコンに取り込んで資料をダウンロードしたり、担当教員と直接連絡をとったりすることができるようになりました。ほとんどの受講者がスマートフォンにもダウンロードし、休講連絡も円滑に情報が到達するようになりました。講義で使用する資料はほとんどPDFで配付され、自分のノートパソコンに取り込むことができるようになりました。欠席の際の資料がほしい、教室変更や宿題の連絡が届かないというトラブルも無くなりました。新型コロナウイルス感染症の影響によって、こうした利便性の高いシステムの導入によって、ストレスの少ない受講が可能となりました。反面、紙の印刷資料に親しんできた人々にとっては、味気なく寂しい思いもさせてしまったことも事実であり、20名を超える受講者がこのシステムの導入とともに受講を修了しました。現在ではこのシステムにも慣れてきて、多くの受講者が豊かな学びを楽しんでいます。

本号でも紹介していますが、受講者どうしのコミュニケーションも進んでおり、2023年度の大学祭にも参加して、授業だけでなく、大学のキャンパスライフも楽しんでいただいております。

今後は、より受講者の多様な学習要求に応えることができるようなしくみを開発してさらなる充実をはかっていきたいと思います。

UUカレッジの楽しみ ～はじめての大学祭参加～

1期生 高尾 俊則

いつも授業だけ受けているけれど、大学祭にも参加してみたい。そんな人たちと仲間を募ってやってみようという事になりました。峰が丘祭はコロナ禍から復活して、制約がありながらも2年目を迎えようとしていました。

学祭総会というものがあるのをUUカレッジ事務室から教えてもらい、5月末から隔週、10月以降は毎週夕方に参加しました。毎回、次回までに提出する資料の作成を指示されます。私たちもグループに必要な10人以上を登録できましたが、仕事もあり授業もばらばら、全員集まるという事ができません。電子メールやライン、時にはカレッジのC-learningやラウンジにあるメールボックスも借用しながら連絡を取り合いました。コミュニケーションの難しさを感じる事もありましたが、きっと学生さん以上のデジタル利用集団になったのではないかと思います。

企画の締切りが5月末でその後は追加できないため、とりあえず多めに下記4案を提出しました。ところが気付けば屋内と屋外、計2店舗の多角経営のお店ができていました。まさか全部やるとは！手探り状態で始めたそのお店でしたが、ご来店のお客さんの多くが笑顔で買って行ってくださいました。これはそれぞれの企画を担当した委員の皆さんの頑張りに加え、カレッジ受講生や事務室の皆さんの多大なご協力と、温かい激励のおかげと感謝しています。テントの設営や会計などの裏方の仕事もありますが、その種の手際良さはさすがカレッジ生です。

終了後に借用品を返却に行ったとき、学生さんから「有難うございました。来年もよろしくお願いします。」と言葉をもらいました。そんな学生さん達と交流できた事も、素晴らしい経験だったと思います。かかわった全ての皆様に改めて感謝です。有難うございました。

活動の様子

- 焼き芋ブリュレ販売
- パン販売
- 地方物産販売
- 古本市

